



中央コンサルタンツ(株)に入社して4年目の宮崎あおいさん。入社1年目は仕事のペースの早さにくじけそうに。でも、「どうせならやるだけやってみよう」と一念発起、キャリアを重ねてきた。その後、働き方改革が浸透し周囲の状況も大きく変化。女性技術者の後輩も増え、女性の活躍の場が広がるよう、社内のロールモデルを目指す宮崎さんに話を伺った。

●技術職を選んだきっかけ

土木に興味をもったのは東北の大震災がきっかけです。災害発生後「救助や支援活動には移動手段の確保が第一。道路の復旧にいち早く取り組んでいる」というニュースを見て、初めて「土木の仕事」「インフラ整備」というものを認識しました。それまでは、道路があるのは「当たり前」。土木技術者という職業も含め、その方々が自然災害発生時に最前線で活動することも知りませんでした。

この出来事は強く心に残り、「○○になりたい」という明確な感情はなかったものの、大学で土木科へ進むことに迷いはありませんでした。

●現場の魅力や責務

私は主に橋梁に関わる仕事をしています。現在は新設設計に携わっていますが、それまでは橋梁の補修設計(維持管理業務)に従事していました。橋のメンテナンスは、利用者の「当たり前」を守ります。この日常を失わないために、日々、研鑽を積み重ねています。やりがいがある一方で、背負う責任も重く緊張感は常にある。それだけに、やり遂げた達成感は大きく、仕事に対して新たな意欲も湧いてきます。

●仕事のこだわりやポリシー

現地調査に行った際は、現場の状況を詳細に見るよう心がけています。補修設計は、書類上で橋梁の損傷状況を確認することから始まります。極論を言えば、そこから基準書や参考書に則って機械的に補修工法を選択することもできます。

ですが、現場では書類から確認できない発見があり、時には書類上の不具合にも気付きます。損傷の発生状況、発生原因、架橋状況等、その橋梁の様々な情報を収集し、特徴を確認した上で補修方法を考える。そうすることで本当に必要とされる設計図を作成することができます。

担い手シリーズ③

当たり前の生活を守るために 知識と経験を積む

宮崎 あおい 入社4年目
中央コンサルタンツ株式会社



●印象的な仕事

現場で働く女性技術者が珍しいのか、現場作業の際は地域の方からよく話しかけられます。あるとき年配の女性に「何をしているの」と尋ねられ、橋の調査ですと伝えると「女性でそんな仕事ができるなんてかっこいい。毎日使っているからよろしくね」と声をかけてもらいました。補修設計は地域を支える大事な仕事ですが「地味な仕事だなあ」と複雑な心境があったのも事実です。ここで利用者から認めてもらえたことがとても嬉しくて、その日の現場は、いつも以上に頑張った気がします。

●今後の目標

土木業界は女性が少なく、私は福岡支店で採用された初の女性技術職でした。当時は周囲も対応に戸惑ったと思います。現在は、女性5名が同支店設計部に在席、仲間も増えました。今後も技術を積極的に勉強しなければいけません。将来(結婚・出産等)を考えると少し不安があります。

働き方改革の推進で環境は変わり、社内でも機を作って女性技術者の意見を吸い上げてくれます。これを一歩進めるために、私自身がロールモデルとなり、仕事とプライベートを充実させ会社と一緒に成長していきたい。そうすることで、男女関係なく働きやすい職場環境が整い、ライフステージに応じた働き方が可能になると思います。



宮崎 あおい(みやざき あおい)
福岡市出身。福岡大学工学部社会デザイン工学科卒業 平成30年4月中
央コンサルタンツ(株)入社

会社概要

中央コンサルタンツ(株)福岡支店
〒812-0039 福岡市博多区冷泉町2-1
TEL. 092-271-2541 FAX. 092-271-2540

<https://www.chuoh-c.co.jp>